

IMI 若年成人における近視の発症と進行

Prof. Mark Bullimore

MCOptom, PhD

IMI タスクフォース主任
ヒューストン大学、米国

通常、近視の発症と進行は子供の頃に見られますが、大人（18 歳から 40 歳）の間にも発生することがあります。この論文は、大人における近視の発症、進行、リスク要因、および管理に関するこれまでのエビデンスを探ります。

若年発症近視はいつ安定するか？

データは乏しく、大きな個人差がありますが、若年発症近視の安定化は、近視人口の約半数で 15 歳頃に認められます。18 歳では、約 77%が安定しており、21 歳で約 90%が安定しています。

成人発症近視の頻度はどのくらいか？

文献によると、成人発症近視の割合は 15%から 81%と幅があります。成人発症近視は、子供の頃に発症した近視と比べて頻度は少ない傾向にあります。成人発症の近視は、専門職の大学生や近業が多い職業グループでよく報告されています。成人発症近視の有病率は時代による変化は現れていないようです。

成人の近視進行率はどのくらいか？

大学生（例えば医学生）を中心に成人の近視進行を記録した報告がいくつかあります。18 歳から 25 歳の成人では、年間進行率は+0.02 から-0.23D とされています。25 歳から 40 歳の参加者を対象とした研究では、平均年間進行率は-0.03 から-0.18D ですが、データはより広範な集団（例えばソフトコンタクトレンズ使用者）を含んでいます。すべてのケースで、近視の進行は軸方向の伸長によるものです。成人学生の近視進行率は過去 35 年間安定しています。

成人近視における発症および進行のリスク因子は何か？

成人近視のリスク因子に関してはデータが乏しく、時に相反しますが、年齢と共に発症と進行のリスクは減少します。リスクは大学生や近業が多い職業の人々で高く、屋外活動が少ないことが関係しています。進行率はヨーロッパ人とアジア人で同程度です。

患者ケアへの影響は？

子供の近視管理にはさまざまな方法がありますが、成人に対する有効性を予測することは難しいです。なぜならば、成人の近視制御を調査した大規模な臨床研究が不足しているためです。成人では進行率が低いため、意味のある効果を観察するには大規模なサンプルサイズと長期間の観察が必要です。角膜屈折矯正手術は近視の人の視力を改善できますが、長期的な軸方向の伸長を防ぐわけではないので、20代前半の成人での手術は、後の再発を引き起こし、長期的な満足度を低下させ、手術の費用対効果を再評価する必要があります。

謝辞

本 IMI ペーパーは、IMI プログラム・ディレクターの Dr Nina Tahhan PhD, MPH, BOptom によって要約されました。IMI タスクフォースメンバーの全リストおよび IMI 白書全文は myopiainstitute.org でご覧いただけます。出版および翻訳費用は、BHVI、ZEISS、EssilorLuxottica、CooperVision、Alcon、HOYA、Théa、および Oculus からの寄付によって支援されました。

翻訳者：後藤聡(MD, PhD, MPH, 大阪大学)

参考文献

Mark A. Bullimore, Samantha Sze-Yee Lee, Katrina L. Schmid, Jos J. Rozema, Nicolas Leveziel, Edward A. H. Mallen, Nina Jacobsen, Rafael Iribarren, Pavan K. Verkicharla, Jan Roelof Polling, Paul Chamberlain; IMI-Onset and Progression of Myopia in Young Adults. *Invest. Ophthalmol. Vis. Sci.* 2023;64(6):2.

doi: <https://doi.org/10.1167/iovs.64.6.2..>

お問い合わせ

Brien Holden Vision Institute Ltd
Level 4, North Wing, Rupert Myers Building, Gate 14 Barker Street,
University of New South Wales, UNSW NSW 2052
imi@bhvi.org